

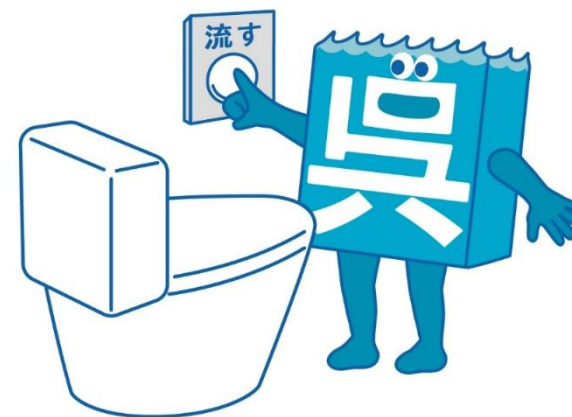
令和7年度当初予算のポイント

(水道事業会計・工業用水道事業会計・下水道事業会計)

次世代につなぐ 信頼ある上下水道 ～呉のみずを守り抜く～



令和7年2月
呉市上下水道局



令和7年度予算(水道事業会計・工業用水道事業会計・下水道事業会計)

- ◎ 「呉市上下水道ビジョン 2024～2033」及び「呉市工業用水道事業経営戦略 2024～2033」に掲げる主要事業を中心とした事務事業を着実に実施

※ ()内は前年度比較

水道事業会計

- 業務の予定量
給水戸数 108,500戸(▲0.5%), 年間配水量 21,243,000 m³(▲1.2%), 1日平均配水量 58,200 m³(▲0.9%)
- 主要な事業
施設の改築・更新及び耐震化の推進, 施設の強靱化の推進, 効率的な事業の推進

工業用水道事業会計

- 業務の予定量
給水先事業所数 6社(―), 年間配水量 25,039,000 m³(―), 1日平均配水量 68,600 m³(―)
- 主要な事業
施設の改築・更新及び耐震化の推進, 効率的な事業の推進

下水道事業会計

- 業務の予定量
排水戸数 95,800戸(▲0.1%), 年間総処理水量 22,812,000 m³(▲2.6%), 1日平均処理水量 62,499 m³(▲2.3%)
- 主要な事業
施設の改築・更新及び耐震化の推進, 下水道未普及地区の整備促進, 施設の強靱化の推進, 浸水対策(雨水整備)の推進, 効率的な事業の推進

「呉市上下水道ビジョン2024～2033」等に基づき、施設・管路の耐震化及び強靱化、経営の効率化を着実に実施

1. 安全で安定した水循環づくり

- 水源系統の最適化 (P16) 【水道】 9,100万円
・戸坂取水場取水施設撤去工事 水道9,100万円
- 水道施設運用の最適化 (P17) 【水道】 1億3,785万円
・配水管整備工事(仁方・音戸地区再編事業) 水道1億3,785万円
- 水道施設の改築・更新及び耐震化の推進 (P17) 【水道】 15億6,429万円【工水】 5,800万円
・《新》基幹配水池バックアップ管路整備基本設計業務 水道3,200万円
・《新》三永水源地ダム総合点検業務 工水2,800万円
・宮原浄水場自家発電機設備等工事 水道9億5,810万円
- 管路の更新及び耐震化の推進 (P18) 【水道】 15億3,339万円
・配水管の更新 水道7億9,575万円
- 管きよの改築・更新及び耐震化の推進 (P19) 【下水】 4億4,472万円
・下水道管きよの改築更新 下水2億4,680万円
- 下水道施設の改築・更新及び耐震化の推進 (P19) 【下水】 23億1,210万円
・二河川ポンプ場の施設更新 下水10億8,000万円
・新宮浄化センターの設備更新 下水6億3,280万円
- 下水道未普及地区の整備促進 (P20) 【下水】 6億1,780万円
・地域に適した方法で未普及地区を整備 下水6億1,780万円

- ビジョン策定後に新たに取組む施策 (P27) 【水道】 7,784万円【下水】 8,000万円
・(株)ディスコ新工場整備に伴う関連管路の整備

2. 災害に強い上下水道づくり

- 上下水道施設の強靱化の推進(再掲) (P21) 【水道】 30億9,767万円【工水】 5,800万円【下水】 27億5,682万円
・《新》基幹配水池の強靱化 水道3,200万円
・管路の耐震化 水道15億3,339万円
・浄水場の強靱化 水道9億5,810万円
・配水池等の強靱化 水道・工水6億3,219万円
・処理場・ポンプ場の耐震化 下水23億1,210万円
・下水道管きよの改築更新 下水4億4,472万円
- 浸水対策(雨水整備)の推進 (P22) 【下水】 3億3,370万円
・《新》月見公園ポンプ場ほか耐水化工事 下水2,840万円
・広雨水1号幹線(Ⅱ期)整備工事 下水1億5,310万円
・雨水出水浸水想定区域図の作成 下水7,000万円
- 応急給水体制・復旧体制の強化(P22) 【水道】 1,144万円
・給水コンテナの購入 水道1,144万円

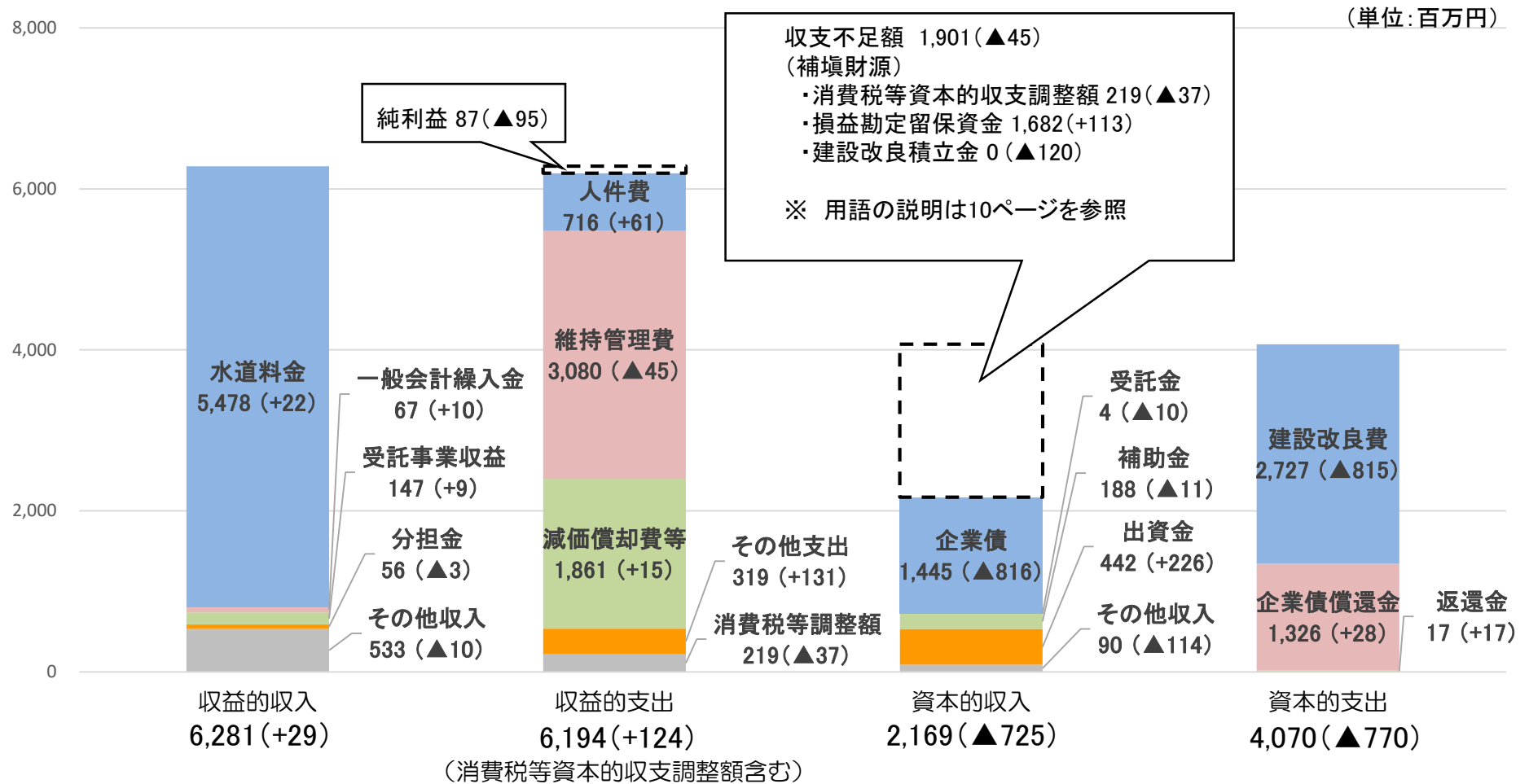
3. 効率的で持続可能な上下水道づくり

- ICTを活用した業務の効率化 (P23) 【水道】 56万円【工水】 5万円【下水】 41万円
・《新》地下埋設物協議の Web システム導入 水道・工水・下水102万円
- 機能的な組織体制づくり (P24) 【水道】 5,243万円【工水】 176万円【下水】 2,501万円
・BPR(業務改革)の推進 水道・工水・下水570万円

令和7年度 水道事業会計予算

※ 各項目を四捨五入しているため、
合計と一致しない場合がある。
※ ()内は前年度比較

- 収益的収入：令和6年4月に実施した料金改定に伴う水道料金の増などにより増加（＋29百万円）
 収益的支出：戸坂取水場の取水施設撤去工事に伴う特別損失の増などにより増加（＋124百万円）
 ○純 損 益：前年度に比べ95百万円減の**87百万円の純利益**



収益的収支予算
 (管理・運営等に係る予算)

資本的収支予算
 (施設の建設・更新等に係る予算)

令和7年度 水道事業会計予算の内訳

(単位:千円, % 税込み)

区分		令和7年度 ①	令和6年度 ②	比較		主な増減理由
				増減(①-②)	伸び率	
収益的収支	収益的収入 A	6,280,992	6,252,044	28,948	0.5	
	水道料金	5,477,955	5,455,457	22,498	0.4	令和6年4月に実施した料金改定(2.5か月分)による増
	一般会計繰入金	67,135	57,394	9,741	17.0	基礎年金拠出金分+16,137, 高料金対策分△9,384
	受託事業収益	147,003	137,626	9,377	6.8	管理受託収益+8,994
	分担金	56,078	58,867	△2,789	△4.7	給水装置の口径変更分△7,563
	その他収入	532,821	542,700	△9,879	△1.8	国庫補助金△9,427
	収益的支出 B	5,975,600	5,813,857	161,743	2.8	
	人件費	715,733	654,652	61,081	9.3	職員人件費+59,801
	維持管理費	3,079,996	3,124,570	△44,574	△1.4	分担金△43,763, 修繕費+23,196
	減価償却費等	1,860,923	1,846,244	14,679	0.8	減価償却費+51,958, 資産減耗費△37,279
	その他支出	318,948	188,391	130,557	69.3	特別損失+91,000, 消費税及び地方消費税+32,018
資本的収支	消費税等資本的収支調整額 C	218,515	255,953	△37,438	—	
	純損益(A-B-C)	86,877	182,234	△95,357	—	
	資本的収入 A	2,169,300	2,894,385	△725,085	△25.1	
	企業債	1,444,500	2,260,500	△816,000	△36.1	建設企業債△816,000
	受託金	4,200	13,871	△9,671	△69.7	広島県水道広域連合企業団共同施設整備受託金△9,671
	補助金	188,435	199,543	△11,108	△5.6	国庫補助金△11,108
	出資金	442,096	216,098	225,998	104.6	災害・安全対策事業分+243,700
	その他収入	90,069	204,373	△114,304	△55.9	工事負担金△123,335
	資本的支出 B	4,070,108	4,839,923	△769,815	△15.9	
	建設改良費	2,727,436	3,542,878	△815,442	△23.0	水道管路整備事業費△902,214 (令和7年3月補正予算対応△960,000)
	企業債償還金	1,325,509	1,297,045	28,464	2.2	建設企業債償還金+28,464
	返還金	17,163	0	17,163	皆増	
	収支不足額(A-B)	△1,900,808	△1,945,538	44,730	—	

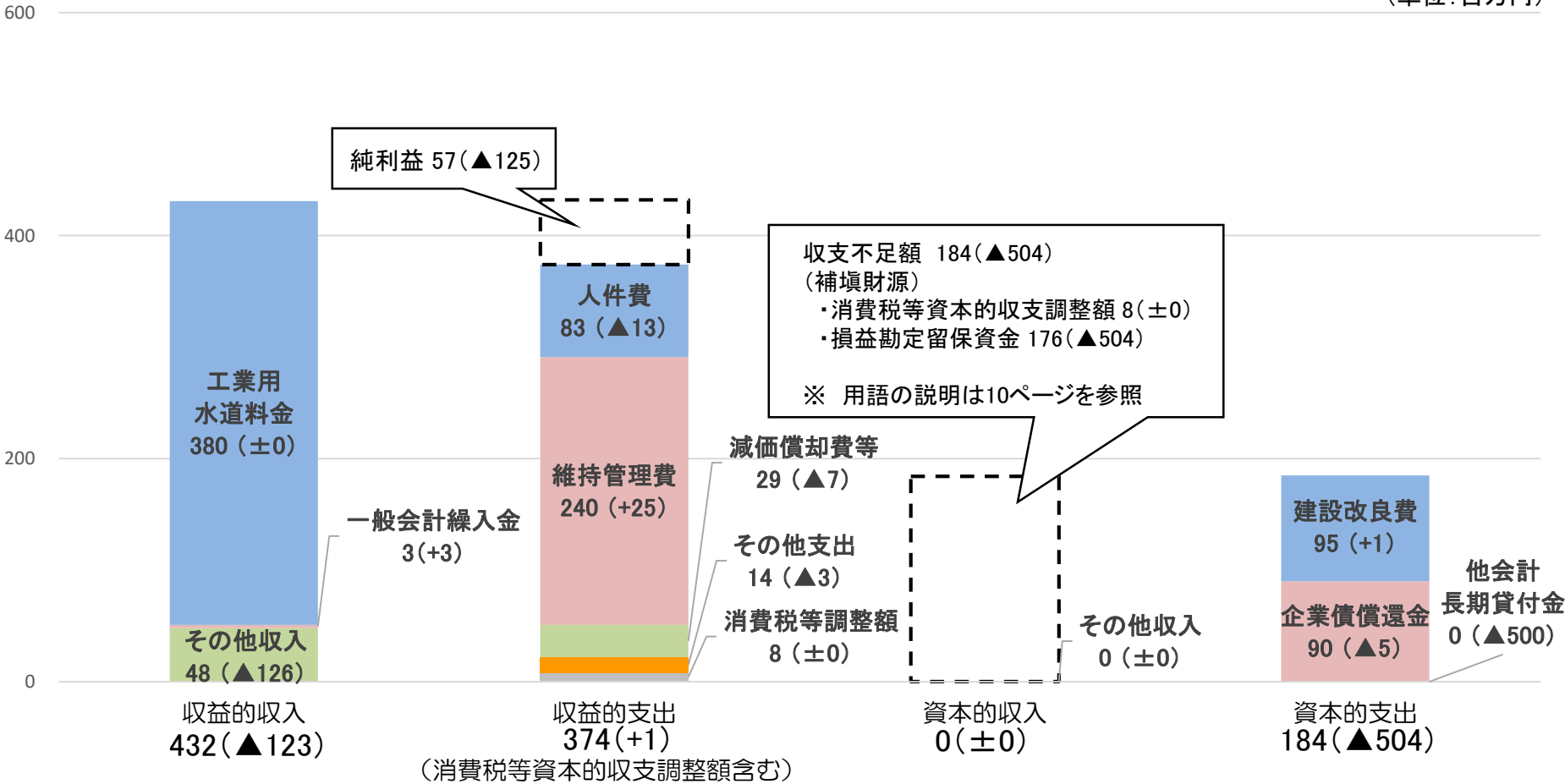
※収支不足額は、損益勘定留保資金等で補填

令和7年度 工業用水道事業会計予算

※ 各項目を四捨五入しているため、
合計と一致しない場合がある。
※ ()内は前年度比較

○収益的収入：土地売却益の減による特別利益の減などにより減少（▲123百万円）
収益的支出：維持管理費の増などにより増加（+1百万円）
○純 損 益：前年度に比べ125百万円減の**57百万円の純利益**

(単位:百万円)



収益的収支予算
(管理・運営等に係る予算)

資本的収支予算
(施設の建設・更新等に係る予算)

令和7年度 工業用水道事業会計予算の内訳

(単位:千円, % 税込み)

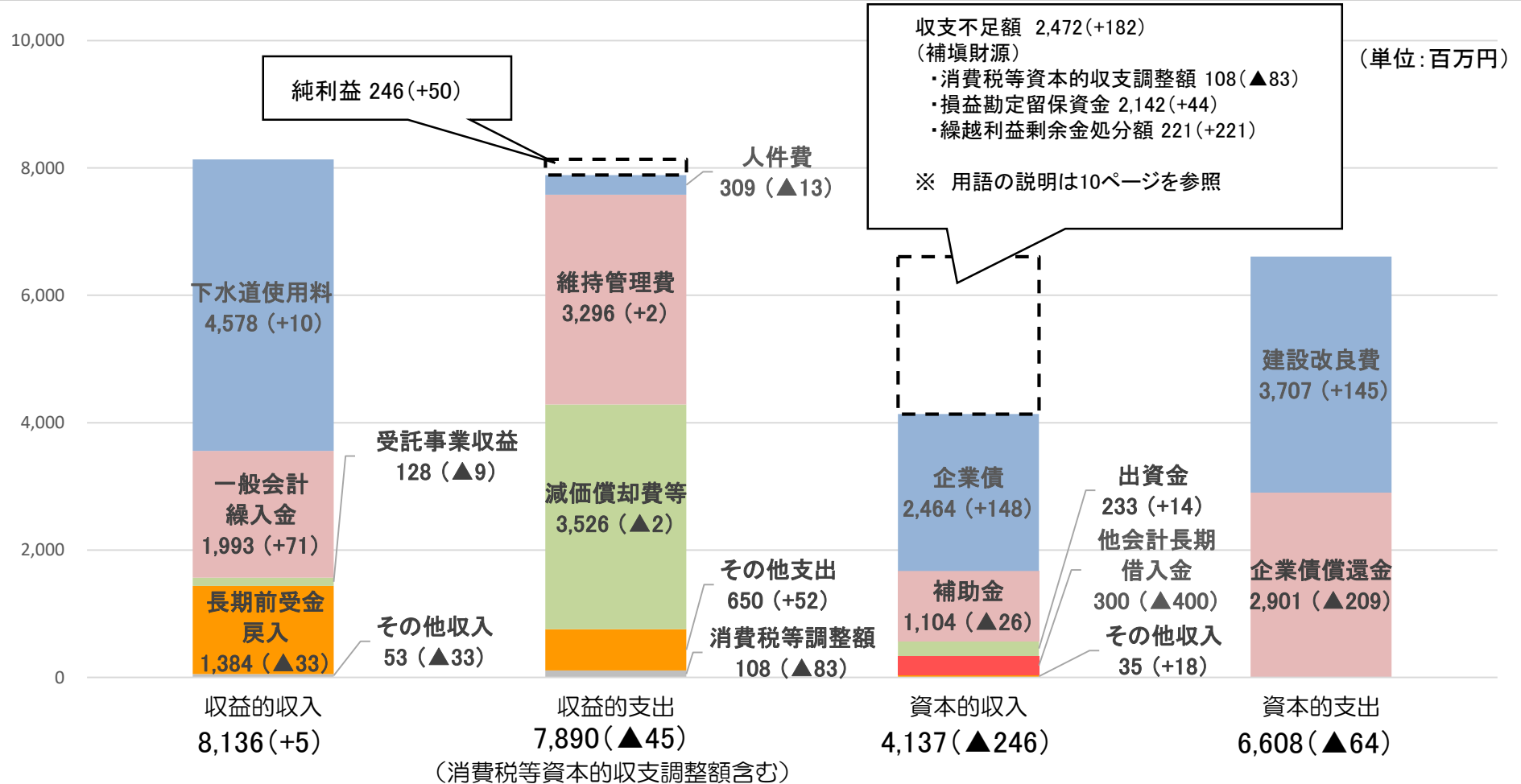
区分		令和7年度 ①	令和6年度 ②	比較		主な増減理由
				増減(①-②)	伸び率	
収益的収支	収益的収入 A	431,780	554,967	△123,187	△22.2	
	工業用水道料金	380,089	380,089	0	—	
	一般会計繰入金	3,458	408	3,050	747.5	基礎年金拠出金分+2,645, 児童手当分+405
	その他収入	48,233	174,470	△126,237	△72.4	特別利益△127,999, 下水道事業貸付金利息+1,799
	収益的支出 B	366,504	365,481	1,023	0.3	
	人件費	82,958	96,384	△13,426	△13.9	職員人件費△13,741, 児童手当+315
	維持管理費	240,384	215,298	25,086	11.7	負担金+24,144, 委託料+2,739, 動力費△1,145
	減価償却費等	29,171	36,539	△7,368	△20.2	資産減耗費△6,648, 減価償却費△720
	その他支出	13,991	17,260	△3,269	△18.9	消費税及び地方消費税△2,166
	消費税等資本的収支調整額 C	7,837	7,513	324	—	
純損益(A-B-C)		57,439	181,973	△124,534	—	
資本的収支	資本的収入 A	1	134	△133	△99.3	
	その他収入	1	134	△133	△99.3	土地売却代金△133
	資本的支出 B	184,162	687,920	△503,758	△73.2	
	建設改良費	94,565	93,413	1,152	1.2	固定資産購入費+27,028, 工業用水道施設整備事業費△23,465
	企業債償還金	89,597	94,507	△4,910	△5.2	建設企業債償還金△4,910
	他会計長期貸付金	0	500,000	△500,000	皆減	下水道事業会計貸付金△500,000
収支不足額(A-B)		△184,161	△687,786	503,625	—	

※収支不足額は、損益勘定留保資金等で補填

令和7年度 下水道事業会計予算

※ 各項目を四捨五入しているため、
合計と一致しない場合がある。
※ ()内は前年度比較

- 収益的収入：一般会計繰入金の増などにより増加（＋5百万円）
 収益的支出：人件費の減などにより減少（▲45百万円）
 ○純 損 益：前年度に比べ50百万円増の**246百万円の純利益**



収益的収支予算
 (管理・運営等に係る予算)

資本的収支予算
 (施設の建設・更新等に係る予算)

令和7年度 下水道事業会計予算の内訳

(単位:千円, % 税込み)

区分		令和7年度 ①	令和6年度 ②	比較		主な増減理由
				増減(①－②)	伸び率	
収益的収支	収益的収入 A	8,135,669	8,130,474	5,195	0.1	
	下水道使用料	4,578,040	4,568,522	9,518	0.2	令和6年4月に実施した料金改定(2.5か月分)による増
	一般会計繰入金	1,992,783	1,921,792	70,991	3.7	雨水処理分+72,356
	受託事業収益	128,291	137,272	△8,981	△6.5	ポンプ所及び樋門管理受託事業収益△6,997
	長期前受金戻入	1,383,739	1,416,588	△32,849	△2.3	有形固定資産長期前受金戻入△32,849
	その他収入	52,816	86,300	△33,484	△38.8	退職手当負担金△15,294
	収益的支出 B	7,781,332	7,742,929	38,403	0.5	
	人件費	309,417	322,831	△13,414	△4.2	職員人件費△14,434
	維持管理費	3,295,667	3,294,033	1,634	0.0	工事請負費+30,795, 薬品費+27,503, 委託料△47,716
	減価償却費等	3,525,812	3,527,831	△2,019	△0.1	資産減耗費△34,673, 減価償却費+32,654
	その他支出	650,436	598,234	52,202	8.7	消費税及び地方消費税+79,856 支払利息△18,277
	消費税等資本的収支調整額 C	108,268	191,338	△83,070	—	
純損益(A－B－C)		246,069	196,207	49,862	—	
資本的収支	資本的収入 A	4,136,843	4,382,914	△246,071	△5.6	
	企業債	2,464,200	2,316,200	148,000	6.4	建設企業債+147,600
	補助金	1,104,425	1,130,501	△26,076	△2.3	国庫補助金△26,266
	出資金	233,395	219,061	14,334	6.5	集落排水事業出資金+7,493, 元金償還分+6,841
	他会計長期借入金	300,000	700,000	△400,000	△57.1	工業用水道事業借入金△500,000, 一般会計借入金+100,000
	その他収入	34,823	17,152	17,671	103.0	工事負担金+20,600, 受益者分担金△3,007
	資本的支出 B	6,608,484	6,672,568	△64,084	△1.0	
	建設改良費	3,707,088	3,561,801	145,287	4.1	固定資産購入費+1,054,757, 公共下水道事業費△1,010,270 (令和7年3月補正予算対応△531,100)
	企業債償還金	2,901,396	3,110,767	△209,371	△6.7	建設企業債償還金△223,572, 資本費平準化償還金+9,281
	収支不足額(A－B)	△2,471,641	△2,289,654	△181,987	—	

※収支不足額は、損益勘定留保資金等で補填

令和7年度 一般会計繰入金の状況

【水道事業会計】

(単位:千円, % 税込み)

区分	令和7年度 ①	令和6年度 ②	比較		主な増減理由
			増減(①-②)	伸び率	
収益的收入	67,135	57,394	9,741	17.0	
負担金	33,165	31,454	1,711	5.4	消火栓等維持管理負担金の増
補助金	33,970	25,940	8,030	31.0	基礎年金拠出金補助金の皆増
資本的收入	487,435	252,406	235,029	93.1	
負担金	45,339	36,308	9,031	24.9	消火栓等設置経費負担金の増
出資金	442,096	216,098	225,998	104.6	災害・安全対策事業出資金の増
合計	554,570	309,800	244,770	79.0	

【参考】
災害対策の観点から実施
する自家発電設備の整備
・宮原浄水場自家発電設備

【工業用水道事業会計】

(単位:千円, % 税込み)

区分	令和7年度 ①	令和6年度 ②	比較		主な増減理由
			増減(①-②)	伸び率	
収益的收入	3,458	408	3,050	747.5	
補助金	3,458	408	3,050	747.5	基礎年金拠出金補助金の皆増
合計	3,458	408	3,050	747.5	

【下水道事業会計】

(単位:千円, % 税込み)

区分	令和7年度 ①	令和6年度 ②	比較		主な増減理由
			増減(①-②)	伸び率	
収益的收入	1,992,783	1,921,792	70,991	3.7	
負担金	1,031,343	958,987	72,356	7.5	雨水処理負担金の増
補助金	961,440	962,805	△1,365	△0.1	集落排水事業補助金, 高資本対策補助金の減
資本的收入	233,395	219,061	14,334	6.5	
出資金	233,395	219,061	14,334	6.5	集落排水事業出資金の増
合計	2,226,178	2,140,853	85,325	4.0	

【参考】
・仁方ポンプ場雨水ポンプ修繕
・月見公園ポンプ場浚渫工事

◎ 用語の説明

○ 消費税等資本的収支調整額

- ・ 資本的支出で支払った消費税と資本的収入で受け入れた消費税との差額
- ・ この差額は、資本的収支の補填財源に使用する。

○ 建設改良積立金

- ・ 建設改良事業に充てるための積立金
- ・ 事業活動によって得た利益を、議会の議決を経て積み立てる。

○ 損益勘定留保資金

- ・ 減価償却費等から長期前受金戻入（国からの補助金等）を除いた額
- ・ 収益的収支のうち、現金を伴わない支出と収入との差額は企業内部に留保され、資本的収支の補填財源に使用する。

○ 繰越利益剰余金処分額

- ・ 前年度末に繰越利益剰余金として確実に見込まれる金額のうち、議会の議決を経て、減債積立金等に処分する予定額
- ・ 繰越利益剰余金は、本来、決算後に議会の議決を経て処分することとなるが、資本的収支の資金不足が他の補填財源を用いても解消されない場合などにおいて、予算に定めるところにより見込まれる金額を補填財源に使用することができる。

**「呉市上下水道ビジョン2024～2033」
「呉市工業用水道事業経営戦略2024～2033」
具体的施策**

呉市上下水道ビジョン2024～2033 基本政策体系

《基本理念》次世代につなぐ 信頼ある上下水道 ～呉のみずを守り抜く～

※ ★は重点施策

基本方針

基本政策

具体的施策

1 安全で安定した 水循環づくり

1-1 水道水の安全性の確保

- ★(1) 水源系統の最適化
- (2) 水質管理体制の充実

1-2 水道水の供給体制の向上

- ★(1) 水道施設運用の最適化(施設の統合・ダウンサイジング・廃止)
- ★(2) 水道施設の改築・更新及び耐震化の推進
- ★(3) 管路の更新及び耐震化の推進
- (4) 水道施設の維持管理体制の強化
- (5) 水道水を安心してお飲みいただくための活動の推進

1-3 生活排水の浄化体制の向上

- ★(1) 管きょの改築・更新及び耐震化の推進
- ★(2) 下水道施設の改築・更新及び耐震化の推進
(施設の統合・ダウンサイジング・廃止)
- (3) 下水道施設の維持管理体制の強化
- (4) 公共用水域への放流水の水質管理の徹底
- (5) 下水道未普及地区の整備促進

2 災害に強い 上下水道づくり

2-1 上下水道施設の強靱化の推進

- ★(1) 上下水道施設の強靱化の推進

2-2 防災・減災体制の強化

- ★(1) 浸水対策(雨水整備)の推進
- (2) 防災マニュアルの充実と定期的な訓練の実施
- (3) 応急給水体制・復旧体制の強化及び関係機関との連携強化

3 効率的で持続可能な 上下水道づくり

3-1 経営基盤及び組織力の強化

- ★(1) 効率的な事業の推進
- ★(2) ICTを活用した業務の効率化
- (3) 官々連携及び民間活力の導入の推進
- (4) 人材育成・技術継承の推進
- (5) 機能的な組織体制づくり

3-2 環境にやさしい事業活動の推進

- (1) 環境負荷の低減
- (2) 資源の有効活用の推進
- (3) 環境保全活動の推進

3-3 お客様からの信頼の向上

- ★(1) お客様とのコミュニケーションの推進
- (2) お客様の利便性の向上

呉市工業用水道事業経営戦略2024～2033基本政策体系

基本方針

1 安全で安定した 供給体制づくり

基本政策

1-1 水源の確保

1-2 供給体制の向上

具体的施策

(1) 水源系統の最適化

- (1) 施設及び管路の最適化
(施設及び管路の統合・ダウンサイジング・廃止)
- (2) 施設の改築・更新及び耐震化の推進
- (3) 管路の更新及び耐震化の推進
- (4) 施設及び管路の維持管理体制の強化
- (5) ユーザーとの連携体制の強化

2 効率的で持続可能な 工業用水道づくり

2-1 経営基盤の強化

2-2 組織力の強化

- (1) 効率的な事業の推進
- (2) 民間活力の導入の推進

- (1) 人材育成・技術継承の推進
- (2) 機能的な組織体制づくり

「呉市上下水道ビジョン2024～2033」

「呉市工業用水道事業経営戦略2024～2033」 具体的施策 目次

1. 安全で安定した水循環づくり

- 1-1 水道水の安全性の確保・・・・・・・・・・・・・16
- 1-2 水道水の供給体制の向上・・・・・・・・・・・・・17
- 1-3 生活排水の浄化体制の向上・・・・・・・・・・・・・19

2. 災害に強い上下水道づくり

- 2-1 上下水道施設の強靱化の推進・・・・・・・・・・・・・21
- 2-2 防災・減災体制の強化・・・・・・・・・・・・・22

3. 効率的で持続可能な上下水道づくり

- 3-1 経営基盤及び組織力の強化・・・・・・・・・・・・・23
- 3-2 環境にやさしい事業活動の推進・・・・・・・・・・・・・25
- 3-3 お客様からの信頼の向上・・・・・・・・・・・・・26

ビジョン策定後に新たに取り組む施策

(株)ディスコ新工場整備に伴う関連管路の整備・・・・・・27

(注) 「呉市工業用水道事業経営戦略2024～2033」に基づく工業用水道事業の具体的施策は、「呉市上下水道ビジョン2024～2033」の該当箇所へ掲載している。

(注) 各項目には、主な事業を掲載しているため、令和7年度予算額（右上表記）と合計が一致しない場合がある。

(注) 一部、重複計上（（再掲）表記）がある。

(注) 事業費には、一部、令和7年3月補正予算対応を含む。

1. 安全で安定した水循環づくり

【1-1】水道水の安全性の確保

(1)【重点】水源系統の最適化

令和7年度予算額 【水道】91,000千円

- ・ 将来の水需要予測を的確に行うとともに、事故、渇水等の非常事態に対応できる適正な規模の水源を確保するため、水道及び工業用水道の水源を総合的に考慮した水源利用の在り方について検討。その一環として、太田川水源の運用合理化及び自己水源の運用方針検討を実施

◆【継続】戸坂取水場取水施設撤去工事

【水道】91,000千円



廃止した戸坂取水場

(2)水質管理体制の充実

令和7年度予算額 【水道】7,895千円

- ・ 水源から蛇口に至るまでの水質管理を徹底するため、水安全計画や水質検査計画の運用を適切に行い、計画的に水質検査機器を更新
- ・ 環境変化に伴う水源等の水質の変動に対応するため、水質改善装置や浄水処理施設を整備

◆【継続】水質検査機器購入

【水道】7,895千円



水質検査

1. 安全で安定した水循環づくり

【1-2】水道水の供給体制の向上

(1) 【重点】水道施設運用の最適化（施設の統合・ダウンサイジング・廃止）

令和7年度予算額 【水道】137,846千円

- ・水道施設の更新においては、将来の水需要や使用水量の実情などを検証するとともに、施設の統廃合、施設の縮小や管路更新時に合わせた管路の口径縮小などのダウンサイジング、管網整備など、適切な規模で整備を行い、更新費用や維持管理費を削減
- ・配水池水系の再編（統廃合による配水池の廃止を含む。）に係る配水管整備工事を実施

◆〈拡充〉配水管整備工事（L＝447m）

（仁方地区、音戸地区配水池水系再編事業）

【水道】137,846千円

※令和7年3月補正予算対応

(2) 【重点】水道施設の改築・更新及び耐震化の推進 令和7年度予算額 【水道・工水】1,622,287千円

- ・呉市唯一の浄水場である宮原浄水場内の設備や老朽化が進行している配水池等は、施設の重要度、老朽度及び断水が発生した際の市民生活への影響度等を考慮し、地震対策を踏まえた上で、呉市水道アセットマネジメント計画に基づき、効率的かつ計画的に改築・更新

◆《新規》基幹配水池バックアップ管路整備基本設計業務 【水道】 32,000千円

◆《新規》三永水源地ダム総合点検業務 【工水】 28,000千円

◆〔継続〕宮原浄水場自家発電機設備等工事 【水道】 958,100千円

◆〔継続〕焼山ポンプ所ほか電気設備等工事 【水道】 539,600千円

1. 安全で安定した水循環づくり

【1-2】水道水の供給体制の向上

(3)【重点】管路の更新及び耐震化の推進

令和7年度予算額 【水道】1,533,386千円

- ・ 管路更新計画（令和6年度～令和15年度）に基づき，老朽化が進んだ配水管の統合やダウンサイジングを実施し，事業費の削減を図りながら耐震性の高い管種に更新
- ・ 管路事故等が発生した場合，特に市民生活に大きな影響を与えるおそれの高い基幹管路（宮原浄水場から東部方面，西部方面及び南部方面に給水）を計画的に更新

◆【継続】配水管の更新（L＝7,939m）

【水道】795,748千円

※令和7年3月補正予算対応含む

◆【継続】基幹管路の更新（L＝3,187m）

【水道】732,576千円（一部再掲）

※令和7年3月補正予算対応

◆【継続】休山東部幹線の更新

【水道】5,062千円

(4)水道施設の維持管理体制の強化

令和7年度予算額 【水道】13,299千円

- ・ 定期的に施設・管路の点検や調査を実施し，予防保全による管理を行い，施設・管路を計画的に修繕し長寿命化を推進
- ・ 漏水を早期に発見するため，呉市全域を6つのブロックに分け，効果的な漏水調査を実施
- ・ AⅠ技術を活用した漏水調査の令和6年度実施結果と，従来手法による音聴調査の比較検証を実施

◆【継続】漏水調査業務

【水道】13,299千円

(5)水道水を安心してお飲みいただくための活動の推進

- ・ 小規模貯水槽の設置者や管理者に対し，定期的な清掃や検査の必要性等の指導・助言及び勧告を継続的に実施
- ・ 貯水槽方式により給水をしているお客様に対し，直結給水方式の導入を促進

1. 安全で安定した水循環づくり

【1-3】生活排水の浄化体制の向上

(1)【重点】管きょの改築・更新及び耐震化の推進

令和7年度予算額 【下水】444,720千円

- ・昭和30年代から昭和40年代に整備した中央地区の合流幹線や大口径管きょ等を対象に計画的な管きょ更生を実施しており、引き続きストックマネジメント計画に基づき、幹線管きょの計画的な改築・更新及び耐震化を実施

◆【継続】下水道管きょの改築・更新 (L=319m)

【下水】246,800千円



更生工事完了後の下水道管

(2)【重点】下水道施設の改築・更新及び耐震化の推進 (施設の統合・ダウンサイジング・廃止)

令和7年度予算額 【下水】2,312,100千円

- ・老朽化が進行している施設については、ストックマネジメント計画に基づき、可能な限り施設の統合・ダウンサイジング・廃止を実施しながら、計画的な改築・更新及び耐震化を実施

◆〈拡充〉二河川ポンプ場の施設更新

【下水】1,080,000千円

用地取得及びPPP/PFI導入可能性調査業務

◆【継続】新宮浄化センターの設備更新

【下水】632,800千円

老朽施設（監視制御設備等）を更新

※令和7年3月補正予算対応含む

◆【継続】広ポンプ場の設備更新

【下水】286,300千円

老朽施設（沈砂池ほか設備等）を更新

※令和7年3月補正予算対応含む

1. 安全で安定した水循環づくり

【1-3】生活排水の浄化体制の向上

(3)下水道施設の維持管理体制の強化

令和7年度予算額 【下水】278,791千円

- ・ 予防保全を基本とした定期的な施設機能の点検や調査により施設の状況を的確に把握し、適正な維持管理を行うことにより事故を未然に防ぐとともに、必要な修繕や改築更新を進めることでライフサイクルコストを低減

◆ 【継続】 管きよの維持管理（清掃調査等） 【下水】147,180千円

◆ 【継続】 処理場・ポンプ場の維持管理（計装設備等点検） 【下水】131,611千円

(4)公共用水域への放流水の水質管理の徹底

令和7年度予算額 【下水】11,153千円

- ・ 放流水質を良好に保つため「除害施設」への立入調査・指導を行うなど流入水の水質管理を徹底
- ・ 市政だよりやホームページ等を通じて利用者の環境保全に係る意識を啓発
- ・ 豊かな水環境を求める地域の新たなニーズに対応するため、放流先の水産資源等を考慮した季節別運転を実施

◆ 【継続】 水質検査等業務 【下水】 3,567千円

(5)下水道未普及地区の整備促進

令和7年度予算額 【下水】617,800千円

- ・ 下水道の未普及地区については、地域に適した効率的な方法を検討した上で、国庫補助金等を最大限に活用しながら計画的に整備を促進

◆ 【継続】 未普及地区の整備（L=4,542m） 【下水】617,800千円

2. 災害に強い上下水道づくり

【2-1】上下水道施設の強靱化の推進

(1)【重点】上下水道施設の強靱化の推進

令和7年度予算額 【水道・工水・下水】 5,912,493千円

- ・巨大地震などの自然災害に備えることや長時間の停電に対応することにより，災害時の被害を最小限にとどめ，早期に復旧できるよう，災害時に必要な機能の優先度を考慮しながら施設の改築・更新等を実施
- ・水道施設では，呉市唯一の浄水場である宮原浄水場に停電時に必要な電力を確保する自家用発電設備や基幹配水池のバックアップ管路の整備を進めるとともに，配水池・管路などについては，優先度を考慮した計画的な改築・更新に合わせて耐震化することにより強靱化を推進
- ・下水道施設においては，土木構造物など耐用年数を経過した施設は，改築・更新時に耐震化し，新設の土木構造物は耐震構造とし耐震化を進めるとともに，管きよについては，ストックマネジメント計画に基づく管きよ更生工事等の耐震化により強靱化を推進

◆《新規》基幹配水池の強靱化

【水道】

32,000千円（再掲）

◆〔継続〕管路の耐震化

【水道】

1,533,386千円（再掲）

※令和7年3月補正予算対応含む

◆〔継続〕浄水場の強靱化

【水道】

958,100千円（再掲）

◆〔継続〕配水池等の強靱化

【水道・工水】

632,187千円（再掲）

◆〔継続〕処理場・ポンプ場の強靱化

【下水】

2,312,100千円（再掲）

※令和7年3月補正予算対応含む

◆〔継続〕管きよの耐震化

【下水】

444,720千円（再掲）

※令和7年3月補正予算対応含む

2. 災害に強い上下水道づくり

【2-2】防災・減災体制の強化

(1)【重点】浸水対策（雨水整備）の推進

令和7年度予算額 【下水】333,700千円

- ・河川氾濫等の災害時においても、一定の下水道機能を確保するため、下水道施設の浸水対策を実施
- ・市民が安全で安心して生活することができるまちづくりを目指し、JR広駅を中心とした広東地区における大雨による浸水被害の発生頻度の減少や被害の軽減を図るため、雨水の排水処理施設を整備
- ・雨水計画区域を対象として想定最大規模降雨による内水浸水想定区域図を作成

◆《新規》月見公園ポンプ場ほか耐水化工事

【下水】 28,400千円

※令和7年3月補正予算対応

◆〔継続〕広雨水1号幹線（Ⅱ期）整備工事（L＝100m）

【下水】 153,100千円

※令和7年3月補正予算対応

◆〔継続〕雨水出水浸水想定区域図の作成

【下水】 70,000千円

※令和7年3月補正予算対応

(2)防災マニュアルの充実と定期的な訓練の実施

- ・定期的な訓練の実施，（公社）日本水道協会主催の防災訓練等への参加を継続していくとともに，実際の応援復旧活動や防災訓練への参加を継続することで得た経験を参考にしながら，常に防災マニュアルの見直しを実施

(3)応急給水体制・復旧体制の強化及び関連機関との連携強化

令和7年度予算額 【水道】11,435千円

- ・災害などで断水になった場合に，給水拠点において効率的に応急給水活動を行い，市民の待ち時間が短縮できるよう組立式の給水コンテナを購入

◆〈拡充〉給水コンテナの購入

【水道】 11,435千円

給水コンテナ15基の追加購入



給水コンテナ

3. 効率的で持続可能な上下水道づくり

【3-1】経営基盤及び組織力の強化

(1)【重点】効率的な事業の推進

令和7年度効果額 【水道】△331,000千円

- ・工事の実施に当たり、将来の水需要を見極めた施設の統廃合やダウンサイジングなど適切な規模での整備を行うことで、事業費を削減
- ・保有する遊休施設の利活用や遊休地の売却・貸付の推進を図ることで財源を確保

◆【継続】配水池水系の再編による効果額

【水道】△331,000千円

冠崎配水池及び冠崎ポンプ所を廃止し、直圧給水方式へ切替

(2)【重点】ICTを活用した業務の効率化

令和7年度予算額 【水道・工水・下水】1,020千円

- ・経営の効率化やお客様の利便性の向上に向けて、AIやIoTの活用等、DXについての調査・研究を進め、実現可能なものから導入
- ・新たな情報通信技術活用取組として、水道用スマートメータの研究を進め、お客様の利便性向上につながる取組を検討
- ・AI技術を活用した漏水調査の令和6年度実施結果と、従来手法による音聴調査の比較検証を実施
- ・地下埋設物協議における工事立会Webシステムの導入により、受付事務を効率化

◆《新規》地下埋設物協議のWebシステム導入

【水道・工水・下水】1,020千円

3. 効率的で持続可能な上下水道づくり

【3-1】経営基盤及び組織力の強化

(3)官々連携及び民間活力の導入の推進

令和7年度予算額 【水道・工水・下水】 1,784,496千円

- ・ 研修や施設の管理運営等について、実現可能なものから広島県水道広域連合企業団や他市町との連携を推進
- ・ 業務の効率化を図り、将来にわたって安全・安心で安定的な上下水道サービスを提供していくため、アウトソーシングが可能な業務について、引き続き民間活力を導入

- ◆ **【継続】 宮原浄水場等維持管理業務の委託** 【水道・工水】 522,833千円
- ◆ **【継続】 検針・収納等業務の委託** 【水道・下水】 258,483千円
- ◆ **【継続】 水質検査業務の委託** 【水道・下水】 28,321千円（一部再掲）
- ◆ **【継続】 下水処理場包括的維持管理業務等の委託** 【下水】 974,859千円

(4)人材育成・技術継承の推進

- ・ 第3次呉市上下水道局職員体制再構築計画に基づく取組により、将来にわたって安全・安心で安定的な上下水道サービスを提供していくため、次世代を担う人材を育成
- ・ 上下水道事業を維持するために必要な技術・技能・知見・判断力を確実に継承

(5)機能的な組織体制づくり

令和7年度予算額 【水道・工水・下水】 79,191千円

- ・ 経営環境が厳しい状況においても、安全・安心で安定的な上下水道サービスを提供していくため、重複・類似部門の一元化、意思決定の迅速化及びアウトソーシングの効率的な実施など、業務効率を高め組織の見直しを検討

- ◆ **【継続】 市長事務部局への事務経費の負担** 【水道・工水・下水】 73,491千円
- ◆ **【継続】 BPR（業務改革）の推進** 【水道・工水・下水】 5,700千円

3. 効率的で持続可能な上下水道づくり

【3-2】環境にやさしい事業活動の推進

(1)環境負荷の低減

令和7年度予算額 【下水】36,000千円

- ・「第3次呉市環境基本計画」に基づく環境保全対策を実施するとともに、環境にやさしい上下水道事業を構築
- ・設備等の改築・更新に合わせ、省エネルギー機器の導入や建物照明のLED化、公用車の電動車への更新を推進し、温室効果ガス排出量の削減を推進

◆【継続】広浄化センター送風機設備工事

【下水】 36,000千円

省エネルギー設備の導入により、年間約200トンのCO₂排出量を削減

(2)資源の有効活用の推進

令和7年度予算額 【水道・工水・下水】400,684千円

- ・浄水場や処理場等から発生する汚泥について、コンポスト（汚泥堆肥）の原材料やセメントの原燃料として100%有効利用するとともに、新たな汚泥処理の方法を調査・研究

◆【継続】汚泥運搬・リサイクル業務

【水道・工水・下水】 400,684千円

(3)環境保全活動の推進

令和7年度予算額 【水道・工水・下水】291千円

- ・呉市の水源の一つである太田川の源流域にある広島市の水源かん養林「太田川源流の森」での住民参加型の森林保全活動（林業体験，森林学習）を通じて、水源かん養の重要性についての啓発活動を実施
- ・水に親しみ、水循環の大切さ等を啓発するため、小学校訪問授業等を実施

◆【継続】太田川流域水源涵養推進協議会への負担

【水道・工水・下水】 291千円



森林保全活動

3. 効率的で持続可能な上下水道づくり

【3-3】お客様からの信頼の向上

(1)【重点】お客様とのコミュニケーションの推進 令和7年度予算額 【水道・工水・下水】3,514千円

- ・お客様のニーズが高い情報を適切なタイミングで提供するため、市の広報紙、ホームページ及び出前トークなどの既存の手段に加え、SNSなど様々なコンテンツを活用した新たな情報発信への取組
- ・上下水道事業の状況を理解していただくため、上下水道施設見学会や子ども水道教室など直接コミュニケーションができる市民参加型イベントを継続して開催

◆【継続】子ども水道教室などの開催

【水道・工水・下水】2,279千円



子ども水道教室



上下水道施設見学会



小学校訪問授業

(2)お客様の利便性の向上

令和7年度予算額 【水道・下水】7,490千円

- ・使用水量や料金などの必要な情報がプッシュ通知され、お客様サービスの向上に活用でき、漏水の早期発見など経費の削減につながる水道用スマートメータとスマートフォンアプリをあわせて検討
- ・キャッシュレス決済の拡充を含めた更なる料金納付の利便性の向上策を検討

◆【継続】コンビニ収納取扱手数料

【水道・下水】7,490千円

● **(株)ディスコ新工場整備に伴う関連管路の整備** 令和7年度予算額 【水道・下水】157,836千円

・ 企業立地による水需要の増加に対応するため、水道管及び下水道管の整備工事を実施

◆ 〈拡充〉 水道管路の整備 (L=320m)	【水道】 77,836千円
◆ 〈拡充〉 下水道管路の整備 (L=400m)	【下水】 80,000千円